

## 研修レポート 豊橋市民病院

この度は 1 か月間、地域研修という大変貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。新城市民病院での研修では、主に総合診療科の初診外来を担当させて頂きました。豊橋市民病院での普段の研修では、救急外来や入院管理、各種手技をメインに行っており、緊急性の有無の判断や、診断すること、入院が必要な患者の治療を行っていました。

一方で新城市民病院での総合診療科で診る患者さんの多くは高齢者で、時には山奥に住んでいるため病院まで片道 1 時間もかかるような方もいらっしゃいました。そういった方々を診る中で、患者の主訴や病歴にしっかりと向き合い、丁寧に診察し、患者さんという人間を診るということの大切さを学ぶことができました。

また、診察の度に上級医の先生にフィードバックを頂き、夕方にはカンファレンスで初診患者全ての振り返りをし、自分が確認していなかった身体所見などご指導いただくことができ、所見の取り方を深く学ぶことができました。患者さんの主訴を大切にし、ジェネラルに診るということの大切さを目の当たりにすることができ、自分が今まで行ってきた医療の拙さを実感しました。

また総合内科診察だけではなく、他職種カンファレンスや朝の勉強会など多くの経験をさせて頂きました。ソーシャルワーカーさんの方からは、入院患者さんの支援の在り方や介護申請の流れなど教えていただき、入院中に早期にこうした後方支援にも取り組むことの大切さを実感しました。今後豊橋市民病院に戻って入院患者さんを見る際には積極的にこうした方々とも連携し患者さんのためのよりよい環境づくりをしていきたいと感じました。

他職種カンファレンスでは、看護師、理学療法士、MSW といった他職種の方々と入院患者のゴール設定や現在の状態の把握などを行い、医学的なゴールだけでなく、生活環境に即したゴールを考えていくことを学びました。

朝の勉強会では、普段の勉強会で学ぶような救急という目線ではなく、総合診療という目線からみた知識を数多く学ぶことができ、救急診療でも活かしていきたいと思いました。

私がいた期間には残念ながら EBM 勉強会は開催されませんでした。先生方は常に最新の情報や論文をリサーチしており EBM の姿勢を学ばせていただきました。

また印象に残っていることとして訪問診療がありました。訪問診療では、在宅医療の現場をみることができ、医療資源の限られた中でも患者さんがよりよい最期を迎えられるよう EBM に固執しない、全人的な医療を見ることができとても感銘を受けました。

最後に、新城市民病院の先生方、コメディカルの皆様、各部署の方のお陰で非常に充実した研修を過ごすことができました。お忙しい中誠にありがとうございました。